

「イクメン」という育児参加

毎日お仕事をがんばっているお父さんは、家族のために必死に働いて帰宅すると、もうぐったり。お風呂に入って、ご飯とビールの体力しか残っていない時もありますよね。最近では育児をするメンズ、「イクメン」がブームですが、仕事が忙しくなかなか育児に参加できないお父さんは、この言葉に後ろめたくなってしまうのではないのでしょうか。

そこで、時間がないお父さんは「イクメン」ではなく、「キクメン」を目指してみてもいいのではないでしょうか。「キクメン」とは話を聞くのが上手なメンズです。育児に長い時間を費やすお母さんの気持ちを「うんうん」と聞いてあげるだけで、お母さんたちの一日の疲れが吹っ飛んでいくものです。子育ての悩みを共有したり、子どもの成長を知るきっかけになるかもしれません。お母さんが心に抱えているモヤモヤを少しでも楽にしておいたり、子育ての喜びを分かち合うことで、夫婦円満につながったら、子どもたちもきっと嬉しく思うでしょう。

難しいことはありません。1日に5分から「キクメン」を始めませんか？これも、一つの育児参加といえるのではないのでしょうか。（NKK記者・吉村直記＝おへそ保育園園長）

※過去記事は佐賀のブログウェブサイト「saganPOST(サガンポスト、post@saga-s.co.jp)」に掲載。

平成25年10月13日

佐賀新聞掲載「ひびの子育て」

園長子育てコラム「キクメン」という育児参加